

平成30年度 タウンミーティング

日時：5月12日（土）15：25～16：25

場所：竹ヶ島集会所

参加者：14名

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
近家港の棧橋について	日頃から利用しているが、老朽化により天板に穴がある。危険でもあるので改修、できれば新規での対応をお願いしたい。	担当課に確認のうえ回答します。	地元自治会長と情報を共有した上、改修します。	建設課
小学校の管理について	現在の担当課はどこになるのか。 また、台風時に屋根の瓦に支障が出た場合の対応はしてもらえるのか。	管理は、現在も教育総務課が担当しています。 屋根の瓦の件とあわせまして、教育総務課に確認のうえ回答します。	施設に支障が出た場合は教育総務課まで御連絡ください。まず現地確認を して対応します。	教育総務課
高校生の寮について	子供が中学を卒業後、市内の高校へ進学を希望しているが、高校生向けの寮はないのか。	現在は高校生向けの寮はありませんが、島嶼部からの生徒さん対象に、月額15,000円を下宿費用等として補助することを始めました。 今後も状況を検証しながら考えていきたいと思えます。	-	教育総務課
島嶼部の人口について	島嶼部の人口の状況は？ (高齢化のみならず、住民自体減少している)	竹ヶ島の人口推移は以下のとおりです。 平成17年8月1日現在：68人 平成29年8月1日現在：28人 (住民基本台帳より) 市内でも人口減少は続いており、時間はかかっても地道な対策を講じていくことが必要だと思えます。	-	企画情報課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
人口減少について	若者が宇和島に残れる対策が必要であると思う。（働く場所も含め）	<p>都会と田舎での所得格差をみれば、若者本人もその親御さんも幸せになるために都会に目を向けるのは、致し方ないと思います。また、企業サイドから見ても、田舎になかなか目を向けてくれないのが現状です。</p> <p>本市においても、都会に比べて相対的に所得が少ないという現実があります。すぐに所得を増加させる特効薬はありませんが、その代わりに例えば、宇和島市がお金のかからないとびきりの子育て環境や仕組みを提供できれば、それが子育て世代への支援につながり、安心して生活、子育て・教育ができる”まち”として認識していただきたいと思います。</p> <p>効果が出るまでには時間はかかりますが、あらゆる可能性を検討しながら、施策を展開する必要があると思います。</p>	<p>具体的な対応の一つとして、本年度、若者が帰って来やすい仕組みづくりを目指し、郷土愛醸成策や受け皿（働く場所）づくり策を中心とした事業提案を行うため、庁内に若手職員で構成する横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、実効性のある対策の立案、及び実施に向けての準備を進めることとしています。</p>	企画情報課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
介護について	<p>住民の高齢化がさらに進んでいくことから、介護について心配している。</p> <p>このような面でも安心してらせる対策をお願いしたい。</p> <p>また、介護保険料を施設に入るときなどの補助に当てることなどはできないか。</p>	<p>市内と島嶼部での介護サービスの「差」は認識しており、大変申し訳なく思います。</p> <p>このような環境を変えていけるように努力します。</p> <p>なお、介護保険制度は国の制度であり、市で自由な判断・運用ができないのが現状ですので、御理解ください。</p>	<p>介護保険は、市町村が保険者となり民間事業者がサービスを提供する制度ですが、島嶼部については、採算面の問題もあり、事業者が参入しづらい現状にあります。</p> <p>そのため、現在、市ではケアマネジャーの訪問や、住民が介護サービスを利用する場合の船賃について、一部助成する制度を設けています。</p> <p>また、平成28年度から、戸島で勤務可能な介護福祉士を養成する事業を始め、これらの事例検証も踏まえながら、竹ヶ島についてもどのような対応が必要であり、どのような取り組みが可能か等について、検討が必要と考えています。</p>	高齢者福祉課